

私たちは知っている

沖縄市立山内小学校五年 徳元 千時

テップウユリが静かに揺れる六月
今年も摩文仁の丘で
礎に刻まれたそう祖父の名前の前で
手を合わせ平和を誓う

そう祖父は七十七年前の沖縄戦で
妻とお腹の子を残して戦死した
父のぬくもりも、
顔すら見たことのない祖父
父を想い礎に刻まれている四文字の
名前を毎年指でなぞる祖父の姿：

「戦争反対！」

大きな声で叫びたい
今、遠い国で起きている戦争
どうして戦争をするの？
戦争が何を生み出すの？
正義と正義のぶつかり合いは戦争でしか解決し
ないの？

七十七年前この沖縄で起きた現実
戦争が終わった私たちの国は本当に平和なのだ
ろうか？

日の丸と、星の旗が立つこの沖縄
真っ青な空には、毎日ヘリが飛び交う
基地に囲まれたフェンスには反対・賛成の看板
基地に奪われた大地や海
私たちの宝島からまた自然が奪われる
家族の元に帰れない遺骨が今も沖縄の地に眠っ
ている

戦争はまだ終わっていない
本当の平和はまだこない

私たちの国はそれを分かっているはずだ
「海も空もひとつしかないよ」
「世界はつながっているんだよ」

体験したことはなくても
私たちは知っている
悲しい涙を、
恐ろしい過去を、
二度とその過ちを犯してはいけないこと

この島で生まれ育った
私たちは知っている
命の尊さを、
自然のはかなさを
一度壊すと元に戻すことはできないこと

今を生きる
私たちは知っている
戦争は神様の仕事でも
自然が起こしたものでもない
人間が始めていることだということを
悲しい現実や過去にフタをしてはいけない
今起きている現実に向き合い
過去を学び

未来に希望を持ち
平和な世界を目指すことが私たちの使命だ
平和を祈る
地球の明るい未来を祈る
声に出して祈る
行動にうつして祈る